

令和6年度 研究業績報告 (2024.4~2025.3)

1. 研究概要

【虚血】

● 研究グループのテーマ

2025年度も虚血性心疾患、心不全、閉塞性動脈硬化症における病態の解明とその治療への応用を基本理念として以下の研究を計画および継続していく。

● 研究概要

- 1) 虚血性心疾患の危険因子である耐糖能障害や脂質代謝異常に焦点を置いた患者血清検体や臨床データを用いての検討。
 - ①冠動脈形成術後のステント内被覆の状態をイメージングデバイスで観察し、新しい動脈硬化病変の不安定化と関連の高いMT1-MMPの流血中単核球表面における発現とともに検討を行っている。
 - ②急性冠症候群後における血糖変動解析、特に日内変動に加え日差変動改正の有用性を検討している。
 - ③胸痛救急来院患者における心筋障害マーカーカットオフ値の有用性について検討している。
 - ④冠動脈病変における心筋虚血指標であるFFRと各種イメージングデバイスを用いた冠動脈形成術における積極的脂質低下療法の有用性を検討している。
 - ⑤脂質異常症治療薬であるPSCK9阻害薬投与が冠動脈内不安定プラークの性状変化・プラーク安定化に与える早期効果に関して検討している。
 - ⑥高度石灰化病変への経皮的冠動脈形成術に伴う冠微小循環障害と手技関連心筋障害との関連に関して検討している。
 - ⑦遠隔期にステント内再狭窄を来たすリスクの高い冠動脈病変について各種イメージングデバイスを用いて解析・検討している。
- 2) 閉塞性動脈硬化疾患に対する積極的脂質への介入の有用性や、下肢における酸素代謝の評価を用いた病態の評価を行っている。
 - ①下肢虚血疾患において、特に重症虚血肢患者における積極的脂質低下療法による治療介入と予後に関して検討を行っている。

- 3) 心不全患者における臨床データと患者血清から得られるサロゲートマーカとの関連を検討。
- ① 心不全患者診断の均一化に向け、胸部 CT を用いた肺うっ血指標の臨床データとの比較検討を行っている。
 - ② 心不全患者におけるカケキシア、サルコペニア、フレイルの観点から予後予測の有用性を検討。さらに新しい抗心不全薬の作用メカニズムや多面的作用の検討を行っている。
 - ③ 慢性心不全患者の左室同期不全への治療介入の有用性や予後との関連について、テトロフォスミン心筋シンチの HRV (Heart Risk View) を用いて検討を行っている。
- 4) 基礎研究では、ヒト培養心筋線維芽細胞を用いて、糖尿病患者に見られる糖尿病性心筋症の発症進展メカニズム解明のため 1. 高血糖存在下における心不全の誘因となるリモデリング促進因子発現の評価、2. sodium glucose cotransporter (SGLT) 受容体への修飾薬剤を用いた心筋リモデリング因子への影響を検討している。臨床検体からの末梢血単核球表面へのリモデリングマーカによる抗体標識を行い、血管動脈硬化疾患患者における発現と病態の関連を評価している。

● キーワード

冠動脈硬化、冠動脈危険因子、心不全、下肢閉塞性動脈硬化症

● 業績年の進捗状況

1) 虚血性心疾患関連：

- ①急性冠症候群後における血糖変動解析、特に日内変動に加え食後高血糖サロゲートマーカである 1.5-AG と予後の関連を報告した。(Heart Vessels, 38,8-17,2023)
- ②経皮的冠動脈形成術施行患者に PCI 前にエボロクマブ(PCSK9-I) を投与することによって、短期間で NIRS-IVUS で同定された脂質コア含有プラーク量が減少することを報告した。(Atherosclerosis, 399, 11851, 2024)
- ③心筋梗塞発症後早期のエボロクマブ(PCSK9-I) 投与が抗炎症作用として好影響を与えることを報告した。(Heart Vessels, 40(4), 312-319, 2025)
- ④心房細動に対するアブレーション前に施行した冠動脈 CT で偶発的に認めた冠動脈疾患患者の患者特性について解析し、報告した。(Int.Heart J, 66(2), 220-225, 2025)
- ⑤経皮的冠動脈形成術に伴う slow flow/ no reflow に対するエボロクマブ(PCSK9-I) 投与の有用性について報告した。(ACC2025, Chicago)

2) 閉塞性動脈硬化疾患関連：

- ①大腿膝窩動脈に EVT を施行された患者において、非責任病変部にも脂質コア含有プラークが責任病変部と同等に認められることを NIRS-IVUS を用いて検討、報告した。(Catheter Cardiovasc Interv, 104(3), 540-547, 2024)

②大腿膝窩動脈疾患患者への積極的脂質低下療法によるプラーク安定化の有用性について報告した。(Eur Heart J, 46(10), 983, 2025)

3) 心不全関連：

①心不全患者来院時から経口利尿剤トルバプタン導入までの時間と院内生存率との関連を報告した。(ESC Heart Fail.10,(6),3573-3581, 2023)

② 心不全患者における肺CTを用いた肺CT値の臨床データとの比較とその傾向について報告。(AHA 2023)

③心不全患者において、テトロフォスミン心筋シンチのHRV (Heart Risk View) で解析した左室同期不全と予後との関連について報告した。(JCS2025, Yokohama)

● 特色等

当講座内にて行われている研究は、臨床における疑問を基礎、臨床を問わずメカニズムからその制御までを基本的な考え方としている。特に動脈硬化を端とする冠動脈疾患に関する研究は、他の施設と比較を行っても独創性があり、科学研究費助成事業から多年度にわたり科研費の助成を受けている。またこれらによる研究の結果、業績より新しい薬剤や機材における有用性をメカニズムから評価することができ、ガイドライン治療の有用性を評価ができ、薬剤や機器の申請に係る医師主導型治験（フェーズ2から3）の参加も多くなってきている。限られた研究資金、補助金ではあるが、日常診療による症例数が多いこともあり、独創的な研究を各スタッフが考案していること、他施設との共同研究を働きかけることにより、資金に関する難点をカバーしており、効率的には優れていると考えられる。

● 本学の理念との関係性

福井大学の理念は、教育・研究・医療及びこれらを通じた社会貢献とされており、特に、独創性でかつ地域の特色に鑑みた科学研究・先端研究を世界レベルで行っております。当科における研究は臨床の疑問からの研究を発端としており、基礎メカニズムを基にした臨床治療への考え方を一貫しております。特に、最新の疾患の発症メカニズムの解明は独創的であり、新しい機器や薬剤の創造へつながる多くの研究を行い、日本国内に限らず、世界の場での発表や国際誌への掲載を行っております。さらには当施設が研究アイデアを立て、福井県内外の施設とも共同研究をおこなっており、本大学の長期目標のひとつにも掲げられている「教員一人ひとりの創造的な研究を尊重するとともに、本学の地域性等に立脚した研究拠点を育成し、特色ある研究で世界的に優れた成果を発信します。」にも合致した方向性が示されていると考えられます。

【不整脈】

● 研究グループのテーマ

令和 7 年度も不整脈、心不全における病態の解明とその治療への応用を基本理念として以下の研究を計画および継続していく。

● 研究概要

発作性/持続性心房細動・多発性心室期外収縮/非持続性心室頻拍・致死性心室性不整脈・左脚ブロックを伴う重症心不全などをテーマに“臨床における病態の解析、問題点の解明ならびに予後改善のための治療介入“を目的として研究を行っている。

- ① 心房細動に対するパルスフィールドアブレーションの有用性と安全性の検討
- ② 心室性期外収縮の波形と不整脈起源の同定
- ③ 心室性不整脈の背景にある器質的疾患の解明のため、遺伝子検査、電位のマッピング、MRI を融合させて検討
- ④ 全身性強皮症に合併する難治性不整脈の催不整脈性因子の解明
- ⑤ 心アミロイドシスの患者の心室性不整脈の出現を予測する因子の解明
- ⑥ 心アミロイドシス患者のデバイス植え込み後のリード抵抗と閾値、波高の変化を解析し、心筋傷害の変化、両心室ペースメーカの有用性を評価
- ⑦ 左室駆出率低下を伴う心房細動アブレーション施行の患者に対して、術前の検査項目による予後予測と、術後の薬物加療による予後への影響
- ⑧ 重症心不全に対する心臓再同期療法における各種バイオマーカー測定の意義：各種測定値と血行動態指標，左室線維化量，および症例の予後との関連の検討
- ⑨ 重症心不全に対する心臓再同期療法の responder/non-responder の検討
- ⑩ 従来型ペースメーカと左脚エリアペースメーカの比較検討
- ⑪ 血管外植込み型除細動器の有効性、安全性

● キーワード

不整脈、カテーテルアブレーション、心臓再同期療法、ペーシング

● 業績年の進捗状況

1) CT を用いて心房細動症例の心外膜脂肪組織の密度を測定し、心房細動との関連を検討した。カテーテルアブレーション後の心房細動の再発に影響することを示し、Heart and Vessel 誌に掲載された。

2) 他施設共同研究で日本人における心房細動症例に対するパルスフィールドアブレーションの前向き研究に参加し、安全性、有効性、患者の QOL 改善を示し、J Interv Card Electrophysiol 誌に掲載された。

3) カテーテルアブレーションの術者に線量計を装着し放射線線量を測定し、一般的にアブレーション手技中の被曝量は低いが、患者の BMI が高値(25kg/m² 以上)となると被曝量が増加することを Heart and Vessel 誌で報告した。

4) 持続性心房細動症例に対してクライオバルーンで肺静脈隔離ならびに左房天蓋部にブロックラインを作成した際に、アブレーション 1 ヶ月後の血液検査で NT-proBNP 減少(60.7% 以上)を認めた場合に 1 年後の時点での再発率が低値であり、手技成功の予測因子となりうることを Heart and Vessel 誌で報告した。

● 特色等

当講座内にて行われている研究は、近年著しく進歩した不整脈に対する非薬物療法に関する研究が中心となっています。カテーテルアブレーションにおいては 2024 年 9 月に日本で認可された最新の心房細動アブレーションであるパルスフィールドアブレーションを用いて肺静脈隔離を行っており、有効性・安全性の評価、治療成績を高めるためにマッピングシステムを併用した治療方法の確立、他組織への影響を評価し研究を行っております。また積極的に様々な多施設共同研究も行っております。カテーテルアブレーション症例数は北陸随一の件数となっており、限られた研究資金の中で、効率的に独創的な臨床研究を行っていると考えます。

ペースメーカーなどのデバイス治療においては、ペーシングリズムによる左室同期不全を防ぐために左脚ペーシングを行っており、Heart Risk View を用いて左室のペーシングによる収縮を評価しています。また、血管外植込み型除細動器をいち早く取り入れ研究を行っております。

本学の理念との関係性

福井大学の理念は教育・研究・医療及びこれらを通じた社会貢献とされています。当循環器内科学教室は患者様に最先端の医療を安全に提供すべく診療を行っており、常に最先端の情報を国内外から得ながら、日本トップレベルの医療を患者様に提供しています。その中から社会貢献につながるような独創的な研究を、臨床・基礎のレベルで行っており、国内のみならず国外学会、海外英文誌に広く報告しています。同時に若手医師、研修医、学生の教育を豊富な症例の中で行い、働く人々が誇りと希望を持って積極的に活動するために必要な組織・体制を構築しながら、21世紀のグローバル社会において、高度専門職業人として活躍できる優れた人材を育てるよう力を入れています。このように優れた教育、研究、医療を通して地域発展をリードし、豊かな社会づくりに貢献できるよう努力しています。

2. 研究実績

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書（分担執筆）

1. Nogami A, Tada H. HUANG'S Catheter Ablation of Cardiac Arrhythmias (Shoei K, Stephen Huang Jason S, Bradfield Kalyanam Shivkumar), Ablation of Idiopathic Left and Right Ventricular and Fascicular Tachycardias. 566-603, 2024.7

(2) 英文：論文

a. 原著論文（審査有）

1. Kurata M, Batnyam U, Tedrow UB, Richardson TD, Kanagasundram NA, Hasegawa K, Uetaka S, Manuelian DE, Pellegrini CP, Stevenson WG. Intramural needle ablation or repeated standard ablation in patients referred for repeat ablation of scar-related ventricular tachycardia. *J Cardiovasc Electrophysiol*, 35(5), 994-1004, 2024.5
2. Hasegawa K, Yoneda ZT, Martines-Parachini JR, Powers EM, Davogustto GE, Hu TY, Tokutake K, Kurata M, Richardson TD, Montgomery JA, Shen S, Estrada JC, Saavedra P, Emerson A, Walker ML, Tandri H, Michaud GF, Kanagasundram NA, Stevenson WG. Can intracardiac echocardiography reduce steam pops during half-normal saline irrigated radiofrequency ablation?. *Circ Arrhythm Electrophysiol*, 17(6), e012635, 2024.6
3. Tokutake K, Uetake S, Kurata M, Hasegawa K, Nakajima I, Richardson TD, Montgomery JA, Shen S, Estrada JC, Saavedra P, Kanagasundram NA, Michaud GF, Stevenson WG. Outcome of repeat ablation for premature ventricular contractions in patients with prior ablation failure: Impact of advanced techniques. *Heart Rhythm*, 22(6), 1455-1461, 2025.6
4. Nodera M, Ishida T, Hasegawa K, Kakehashi S, Mukai M, Aoyama D, Miyazaki S, Uzui H, Tada H. Epicardial adipose tissue density predicts the presence of atrial fibrillation and its recurrence after catheter ablation: three-dimensional reconstructed image analysis. *Heart Vessels*, 39(8), 696-705, 2024.8
5. Sato Y, Morishita T, Shimizu T, Kataoka T, Matsunaka Y, Uzui H, Tada H. Evaluation of nontarget lesions in femoropopliteal disease using near-infrared spectroscopy intravascular ultrasound imaging. *Catheter Cardiovasc Interv*, 104(3), 540-547, 2024.9

6. Compagnucci P, Russo AD, Gasperetti A, Schiavone M, Sehrawat O, Hasegawa K, Mohanty S, Liang JJ, La Fazia VM, Bogun FM, Stevenson WG, Tondo C, Siontis KC, Tandri H, Santangeli P, Natale A, Casella M. Substrate characterization and outcomes of ventricular tachycardia ablation in amyloid cardiomyopathy: A multicenter study. *Circ Arrhythm Electrophysiol*, 17(9), e012788, 2024.9
7. Kataoka T, Morishita T, Uzui H, Sato Y, Shimizu T, Miyoshi M, Yamaguchi J, Shiomi Y, Ikeda H, Tama N, Hasegawa K, Ishida K, Tada H. Very short-term effects of a single dose of a proprotein convertase subtilisin/kexin 9 inhibitor before percutaneous coronary intervention: A single-arm study. *Atherosclerosis*, 399, 11851, 2024.12
8. Katsume Y, Hasegawa K, Limprasert S, Ueda A, Kanagasundram NA, Richardson TD, Stevenson WG, Soejima K. Termination without global capture in reentrant ventricular tachycardia. *JACC Clin Electrophysiol*, 10(12), 2545-2553, 2024.12
9. Uetake S, Hasegawa K, Kurata M, Davogustto GE, Hu TY, Siegrist KK, Yoneda ZT, Richardson TD, Kanagasundram NA, Stevenson WG, Tandri H. Emergent ablation for ventricular tachycardia: predictors of prolonged hospitalization and mortality. *JACC Clin Electrophysiol*, 10(12), 2557-2566, 2024.12
10. Weinand ND, Hu TY, Hasegawa K, Kanagasundram NA, Tandri H, Stevenson WG, Richardson TD. Distribution of myocardial fibrosis in patients with non-ischemic cardiomyopathy and ventricular tachycardia based on genetic variant. *Heart Rhythm*, 22(1), 100-105, 2025.1
11. Yamane T, Sasano T, Tomita H, Aoyama D, Miyazaki S, Takigawa M, Kimura M, Itoh T, Yamashita S, Jada M Selma, Jeffrey Cerkenvenik, Atul Verma, Tada H, PULSED AF Investigators. Safety, efficacy, and quality of life outcomes of pulsed field ablation in Japanese patients with atrial fibrillation: results from the PULSED AF trial. *J Interv Card Electrophysiol*, 68(1), 149-157, 2025.1
12. Yokoshiki H, Shimizu A, Mitsuhashi T, Ishibashi K, Kabutoya T, Yoshiga Y, Kondo Y, Temma T, Takagi M, Tada H. A novel prediction model for survival in individual patients with cardiac resynchronization therapy with a defibrillator: Analysis of the new Japan cardiac device treatment registry database. *J Arrhythm*, 41(1), e13213, 2025.1
13. Yamada T, Tokuda T, Yoshioka N, Koyama A, Nishikawa R, Shimamura K, Tsuruoka T, Mitsuoka H, Sato Y, Aoyama T. Impact of below-the-knee runoff in patients with lower extremity artery disease who underwent endovascular therapy using drug-coated balloons in femoropopliteal lesions. *Catheter Cardiovasc Interv*, 105(3), 698-706, 2025.2

14. Ikeda H, Hasegawa K, Uzui H, Mukai M, Tama N, Ishida K, Tada H. Characteristics of incident coronary artery disease in patients undergoing atrial fibrillation ablation. *Int Heart J*, 66(2), 220-225, 2025.3
15. Uetake S, Stevenson WG, Richardson TD, Kanagasundram AN, Hasegawa K, Kurata M, Togashi D, Alahwany SH, Hu T, Davogustto GE, Yoneda ZT, Shen ST, Montgomery JA, Tandri H. Mechanisms of ventricular tachycardias with a 1:1 his-v relation in patients with heart disease. *Heart Rhythm*, Online ahead of print, 2025.3
16. Azuma H, Tada M, Matano H, Yamada N, Uzui H, Fujino S, Maeno K, Shimada Y, Yoshida H, Murahashi H, Ando M, Hachiya K, Tanaka S, Hattori T, Tsubota M, Yamada Y, Kuriyama A, Fujisawa T, Chapman AR, Mills NL, Hayashi H, Watanabe N, Furukawa TA. Accelerated diagnostic pathways for myocardial infarction using a Siemens High-Sensitivity cardiac troponin I assay. *Clin Biochem*, 136, 110897, 2025.3
17. Boersma LVA, Natale A, Haines D, DeLurgio D, Sood N, Marchlinski F, Calkins H, Hoyt RH, Sanders P, Irwin J, Packer D, Mittal S, Durrani S, Di Biase L, Sangrigoli R, Tada H, Sasano T, Tomita H, Yamane T, Kuck KH, Wazni O, Tarakji K, Cerkevnik J, van Bragt KA, Abeln BGS, Verma A. Prevalence, timing, and impact of early recurrence of atrial tachyarrhythmias after pulsed field ablation: A Secondary analysis of the PULSED AF Trial. *Heart Rhythm*, 22(4), 884-890, 2025.4
18. Shimizu T, Morishita T, Uzui H, Sato Y, Kataoka T, Miyoshi M, Yamaguchi J, Shiomi Y, Ikeda H, Tama N, Hasegawa K, Ishida K, Tada H. Anti-inflammatory effects of proprotein convertase subtilisin/kexin 9 inhibitor therapy in the early phase of acute myocardial infarction. *Heart Vessels*, 40(4), 312-319, 2025.4
19. Horie T, Miyazaki S, Nagata Y, Miyazaki R, Kujiraoka H, Hara S, Yamamoto T, Arai H, Michishita T, Tateishi R, Shimizu S, Yamashita S, Mukai M, Iwai S, Okada H, Tanaka A, Suzuki M, Nakashima E, Ono Y, Fukamizu S, Yamauchi Y, Tada H, Hachiya H, Suzuki M, Az. Predictors of left atrial thrombi for subsequent thromboembolisms: risk factors derived from echocardiography. *Heart Rhythm*, 22(8), E344-E351, 2025.8

b. 症例報告論文

1. Tsuji T, Hasegawa K, Tada H. Left atrial diverticulum as a rare but possible origin of a sustained atrial tachycardia: A case report. *Eur Heart J*, 45(29), 2679, 2024.8
2. Sato Y, Morishita T, Tada H. Efficacy of aggressive lipid-lowering therapy on plaque stabilization in femoropopliteal disease, assessed using near-infrared spectroscopy intravascular ultrasound. *Eur Heart J*, 46(10), 983, 2025.3

3. Sato Y, Nakano Y, Ikeda H, Ishida K, Uzui H, Tada H. Proximal SFA CTO puncture for femoropopliteal occlusive disease. *Cardiovasc Interv Ther*, 40(3), 715-716, 2025.7

c. 国際会議論文

1. Hasegawa K, Yoneda ZT, Powers EM, Davogustto GE, Hu TY, Kurata M, Uetake S, Togashi D, Richardson TD, Montgomery JA, Shen S, Tandri H, Kanagasundram NA, Stevenson WG. Detection of asymmetrical conduction across the left ventricular summit during ablation of premature ventricular contractions. *Heart Rhythm*, 21(5S), S154-S155, 2024.5
2. Tsuji T, Tada H, Nomura R, Miyoshi M, Mukai M, Hasegawa K. Left atrial diverticulum as a rare but possible origin of a sustained atrial tachycardia: A case report. *Heart Rhythm*, 21(5S), S154-S155, 2024.5
3. Sato Y. Evaluation of non-target lesions in femoropopliteal disease using near-infrared spectroscopy intravascular ultrasound imaging. *Eur Heart J*, 45, 2024.10
4. Miyoshi M, Hasegawa K, Tsuji T, Nomura R, Mukai M, Tada H. Local ventricular activation at the distal great cardiac vein determines right- and left-sided approach for catheter ablation of outflow tract arrhythmias: a simple and rapid discriminator. *Eur Heart J*, 45, 2024.10
5. Kataoka T, Uzui H, Morishita T, Nomura R, Tsuji T, Shimizu T, Mukai M, Sato Y, Miyoshi M, Yamaguchi J, Ikeda H, Tama N, Hasegawa K, Ishida K, Tada H. Very short-term effects of single dose of proprotein convertase subtilisin kexin 9 inhibitor therapy before percutaneous coronary intervention. *Eur Heart J*, 45, 2024.10
6. Kataoka T, Uzui H, Tsuji T, Shimizu T, Sato Y, Yamaguchi J, Hasegawa K, Ikeda H, Ishida K, Tada H. Prevention of slow flow/no reflow during percutaneous coronary intervention by a single dose of pcsk9 inhibitor therapy. *J Am Coll Cardiol*, 85(12), 865, 2025.3

d. 総説

1. Kuroki K, Tada H. Catheter ablation using pulsed-field energy: Advantages and limitations compared with conventional energy. *J Arrhythm*, 41(1), e70011, 2025.2
2. Hasegawa K, Tada H. Coronary artery injury related to catheter ablation for cardiac arrhythmias - A systematic review. *Circ J*, 89(6), 751-756, 2025.5

e. その他

1. Iwasaki YK, Noda T, Akao M, Fujino T, Hirano T, Inoue K, Kusano K, Nagai T, Satomi K, Shinohara T, Soejima K, Sotomi Y, Suzuki S, Yamane T, Kamakura T, Kato H, Katsume A, Kondo Y, Kuroki K, Makimoto H, Murata H, Oka T, Tanaka N, Ueda N, Yamasaki H, Yamashita S, Yasuoka R, Yodogawa K, Aonuma K, Ikeda T, Minamino T, Mitamura H, Nogami A, Okumura K, Tada H, Kurita T, Shimizu W; Japanese Circulation Society and Japanese Heart Rhythm Society Joint Working Group. JCS/JHRS 2024 Guideline focused update on management of cardiac arrhythmias. *Circ J*, 89(7), 1012-1073, 2025.6

(3) 和文：著書等

a. 著書（分担執筆）

1. 池田 裕之, 冨田 浩. 臨牀透析 Vol.40 No.5 (加藤 明彦), 透析患者における心不全の病態と疫学. 日本メディカルセンター, 7-12, 2024.5
2. 冨田 浩. 今日の治療指針 2025 年版 (福井次矢, 高木 誠, 小室一成), 上室頻拍. 医学書院, 386-387, 2025.1

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1. 笠松 眞吾, 森田 浩史, 宇隨 弘泰, 木村 哲也. クラウド救急医療連携システムで実現する複数機種を除細動器から 12 誘導心電図と画像の伝送. *ICU と CCU (集中治療医学)*, 48(8), 486-488, 2024.8

b. その他

1. 冨田 浩, 草野 研吾. 第 70 回日本不整脈心電学会学術大会を終えて. *心電図*, 44(4), 272-273, 2024.
2. 渡邊 英一, 西井 伸洋, 前田 明子, 堺 美郎, 藤生 克仁, 鈴木 誠, 加藤 律史, 安部 治彦, 野田 崇, 冨田 浩, 高木 雅彦. 植込み型デバイス委員会社会問題対策委員会 植込み型心臓血管病先進治療学講座不整脈デバイスの遠隔モニタリングに関する日本不整脈心電学会 (JHRS) ステートメント. *日本不整脈学会会誌 心電図*, 45(1), 33-66, 2025.3

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 一般講演（口演）

1. Sato Y. Evaluation of non-target lesions in femoropopliteal disease using near-infrared spectroscopy intravascular ultrasound imaging. LINC2024, Germany, 20240529

b. 一般講演（ポスター）

1. Hasegawa K, Yoneda ZT, Powers EM, Davogustto G, Hu T, Kurata M, Uetake S, Togashi D, Richardson TD, Montgomery JA, Shen S, Tandri H, Kanagasundram NA, Stevenson WG. Detection of asymmetrical conduction across the left ventricular summit during ablation of premature ventricular contractions. Heart Rhythm 2024, Boston,MA(USA), 20240517
2. Tada H. Left atrial diverticulum as a rare but possible origin of a sustained atrial tachycardia:A case report. Heart Rhythm 2024, Boston,MA(USA), 20240518
3. Miyoshi M, Hasegawa K, Tsuji T, Nomura R, Mukai M, Tada H. Local ventricular activation at the distal great cardiac vein determines right- and left-sided approach for catheter ablation of outflow tract arrhythmias: a simple and rapid discriminator. ESC 2024, London(England), 20240830
4. Sato Y. Evaluation of non-target lesions in femoropopliteal disease using near-infrared spectroscopy intravascular ultrasound imaging. ESC 2024, London(England), 20240901
5. Kataoka T, Uzui H, Morishita T, Nomura R, Tsuji T, Shimizu T, Mukai M, Sato Y, Miyoshi M, Yamaguchi J, Ikeda H, Tama N, Hasegawa K, Ishida K, Tada H. Very Short-Term Effect of Single Dose of Proprotein Convertase Subtilisin Kexin 9 Inhibitor Therapy before Percutaneous Coronary Intervention . ESC 2024 , London(England), 20240902
6. Tada H, Hasegawa K, Miyoshi M, Tsuji T, Mukai M. Local ventricular activation in the distal great cardiac vein determines a right-or left-sided approach for catheter ablation of outflow tract arrhythmias:A simple and rapid indicator. APHRS 2024, Sydney, Australia, 20240928
7. Kataoka T, Uzui H, Tsuji T, Shimizu T, Sato Y, Yamaguchi J, Hasegawa K, Ikeda H, Ishida K, Tada H. Prevention of slow flow/no reflow during percutaneous coronary

intervention by a single dose of PCSK9 inhibitor therapy. ACC2025, Chicago(USA), 20250330

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

1. 冨田 浩. 流出路起源. 心電学関連春季大会 2024, 大分市, 20240425
2. 冨田 浩. 臨床研究のすすめ: 出会いと機会を大切に. 第 70 回日本不整脈心電学会学術大会 会長講演, 金沢市, 20240718

b. シンポジスト・パネリスト等

1. 池田 裕之. Structural Heart Disease. 第 70 回日本不整脈心電学会学術大会, 金沢市, 20240719
2. 長谷川 奏恵. Women in EP: 詳細を見る. 第 70 回日本不整脈心電学会学術大会, 金沢市, 20240719
3. 長谷川 奏恵. 抗がん剤（ホルモン療法）の致死性不整脈. 第 70 回日本不整脈心電学会学術大会, 金沢市, 20240719
4. 向井 萌. OFF にしない. 第 70 回日本不整脈心電学会学術大会, 金沢市, 20240719
5. 佐藤 裕介. 詳細を見る. 第 32 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 札幌市, 20240726
6. 三好 真智子. 地方で働く女性循環器内科医の現状. 第 32 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 札幌市, 20240726
7. 三好 真智子. 地方で働く女性循環器内科医の現状. CVIT-TV 小委員会が選ぶ CVIT2024 演題特集 Part2, Web 開催, 20241023

c. 一般講演（口演）

1. 片岡 達宏, 向井 萌, 三好 真智子, 山口 順也, 佐藤 裕介, 玉 直人, 池田 裕之, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. 経皮的冠動脈形成術(PCI)施行患者に対するエボロクマブ(PCSK9-I)投与による超短期的なバイオマーカーの変動. 第 121 回日本内科学会総会・講演会, 東京, 20240414

2. Naruse Y, Hasegawa K, Tsuji T, Miyoshi M, Kataoka T, Kaeriyama T, Horiguchi S, Hisazaki K, Aoki H, Okazaki Y, Sakaki T, Minami K, Naito S, Tada H. The clinical usefulness of corrected v6r/v5r index to identify idiopathic left ventricular arrhythmias arising from the aortic cusp. 第70回日本不整脈心電学会学術大会, 金沢市, 20240718
3. Mukai M, Aoyama D, Nomura R, Tsuji T, Miyoshi M, Hasegawa K, Uzui H, Tada H. What kind of patients present with hypotension during catheter ablation of atrial fibrillation?: frequency and patient characteristics. 第70回日本不整脈心電学会学術大会, 金沢市, 20240719
4. 山口 順也, 片岡 達宏, 池田 裕之, 佐藤 裕介, 三好 真智子, 長谷川 奏恵, 玉直人, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. TAVI 後左室流出路狭窄による急性僧帽弁閉鎖不全症を呈した1例. 第14回日本経カテーテル心臓弁治療学会学術集会, 福岡市, 20240719
5. 山口 順也, 片岡 達宏, 池田 裕之, 三好 真智子, 佐藤 裕介, 長谷川 奏恵, 玉直人, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. Extra large annulus の二尖弁に対して TAVI を施行した1例. 第14回日本経カテーテル心臓弁治療学会学術集会, 福岡市, 20240719
6. 笠松 眞吾, 森田 浩史, 宇隨 弘泰, 木村 哲也. 能登半島地震におけるプレホスピタル12誘導心電図伝送システムの課題と対策. 第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 鹿児島市, 20240719
7. 関戸 貴大, 野村 量平, 高倉 美来, 松中 裕也, 橋脇 和史, 堀田 慎吾, 笠川 哲也, 吉川 真由美, 辻 俊比古, 向井 萌, 三好 真智子, 長谷川 奏恵, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. 周術期体成分計測よりクライオバルーンによる冷却効果の検討. 第70回日本不整脈心電学会学術大会, 金沢市, 20240720
8. 堀田 慎吾, 高倉 美来, 松中 裕也, 関戸 貴大, 橋脇 和史, 笠川 哲也, 吉川 真由美, 野村 量平, 辻 俊比古, 向井 萌, 三好 真智子, 長谷川 奏恵, 冨田 浩. 左肺静脈共通幹入口部の短軸径が長いと隔離に難渋する. 第70回日本不整脈心電学会学術大会, 金沢市, 20240720
9. Miyoshi M, Tsuji T, Hasegawa K, Nomura R, Mukai M, Tada H. The earliness of local ventricular activation in the distal great cardiac vein can distinguish right-sided and left-sided outflow tract arrhythmias: a simple and quick determinant. 第70回日本不整脈心電学会学術大会, 金沢市, 20240720
10. Yoshioka N, Tokuda T, Yamada T, Koyama A, Shimamura K, Nishikawa R, Tsuruoka T, Sato Y, Mitsuoka H, Morita Y, Morishima I. Recurrent patterns and clinical

outcomes after drug-coated balloon angioplasty for femoropopliteal artery lesions. 第 32 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 札幌市, 20240726

11. 辻 俊比古, 玉 直人, 野村 量平, 片岡 達宏, 清水 智弘, 向井 萌, 佐藤 裕介, 三好 真智子, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 池田 裕之, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. 劇症型好酸球性心筋炎の加療中にサイトメガロウイルス感染症を合併した一例. 第 72 回日本心臓病学会学術集会, 仙台市, 20240928
12. 野村 量平. 左脚ペーシング術中にスクリューの変形とリード断線をきたし抜去困難となった症例. 第 17 回植込みデバイス関連冬季大会, 福岡市, 20250221
13. 長谷川 奏恵, 三好 真智子, 冨田 浩. Successful Ablation in Two Cases of Arrhythmogenic Right Ventricular or Atrial Aneurysms Associated with Systemic Sclerosis. 第 89 回日本循環器学会学術集会, 横浜市, 20250328
14. 海野 優矢, 中野 悠太郎, 山田 彬弘, 荻野 新, 新谷 智之, 野村 量平, 片岡 達宏, 辻 俊比古, 清水 智弘, 向井 萌, 佐藤 裕介, 三好 真智子, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 玉 直人, 池田 裕之, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. A Case of Platinum Allergy with Repeated Short Term Asymptomatic In-stent Restenosis Successfully Treated with Tranilast. 第 89 回日本循環器学会学術集会, 横浜市, 20250328
15. 玉 直人, 山田 彬弘, 海野 優矢, 中野 悠太郎, 新谷 智之, 荻野 新, 野村 量平, 片岡 達宏, 辻 俊比古, 清水 智弘, 向井 萌, 三好 真智子, 佐藤 裕介, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 池田 裕之, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. Left Ventricular Dyssynchrony Assessed by Heart Risk View (HRV) may Predict Prognosis of Heart Failure -Fukui HRV Phase Analysis Study-. 第 89 回日本循環器学会学術集会, 横浜市, 20250329
16. 上田 暢彦, 石橋 耕平, 野田 崇, 利根川 玲奈, 金岡 幸嗣朗, 住田 陽子, 鎌倉 令, 和田 暢, 井上 優子, 宮本 康二, 相庭 武司, 宮本 恵宏, 三橋 武司, 安部 治彦, 安田 聡, 高木 雅彦, 冨田 浩, 草野 研吾. A First Large-Scale Data of Nationwide Cardiac Resynchronization Therapy Study Using the Secondary Survey of JROAD-DPC Data in Asia. 第 89 回日本循環器学会学術集会, 横浜市, 20250329
17. 池田 裕之, 山田 彬弘, 中野 悠太郎, 海野 優矢, 新谷 智之, 荻野 新, 野村 量平, 辻 俊比古, 片岡 達宏, 清水 智弘, 向井 萌, 佐藤 裕介, 三好 真智子, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 玉 直人, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. A Case of MI in a Bent Vessel Successfully Treated by PCI with Reference to a Virtual Vessel by CT. 第 89 回日本循環器学会学術集会, 横浜市, 20250329
18. 中野 悠太郎, 辻 俊比古, 海野 優矢, 山田 彬弘, 荻野 新, 新谷 智之, 野村 量平, 片岡 達宏, 清水 智弘, 向井 萌, 佐藤 裕介, 三好 真智子, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 池田 裕之, 玉 直人, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩, 山下 順貴, 中本 安成. A Case of Multidisciplinary Treatment of Severe irAE Myocarditis Complicated by Severe

Cardiac Dysfunction and Complete AV Block. 第 89 回日本循環器学会学術集会, 横浜市, 20250329

19. 向井 萌, 山田 彬弘, 中野 悠太郎, 海野 優矢, 新谷 智之, 荻野 新, 野村 量平, 辻 俊比古, 片岡 達宏, 清水 智弘, 佐藤 裕介, 三好 真智子, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 玉直人, 池田 裕之, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. Atrial Tachycardia Concomitant with Myopathy Associated with Anti-mitochondrial Antibodies: A Case Report. 第 89 回日本循環器学会学術集会, 横浜市, 20250329
20. 清水 智弘, 海野 優矢, 中野 悠太郎, 山田 彬弘, 荻野 新, 新谷 智之, 野村 量平, 片岡 達宏, 辻 俊比古, 向井 萌, 佐藤 裕介, 三好 真智子, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 池田 裕之, 玉直人, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. Aggressive Lipid-lowering Therapy with PCSK9 Inhibitors can Prevent Recurrent In-stent Restenosis. 第 89 回日本循環器学会学術集会, 横浜市, 20250329
21. 山口 順也, 片岡 達宏, 池田 裕之, 山田 彬弘, 海野 優矢, 中野 悠太郎, 荻野 新, 新谷 智之, 野村 量平, 辻 俊比古, 清水 智弘, 向井 萌, 佐藤 裕介, 三好 真智子, 長谷川 奏恵, 玉直人, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. A Case of Transcatheter Aortic Valve Implantation (TAVI) Performed for Aortic Stenosis of Quadricuspid Aortic Valve. 第 89 回日本循環器学会学術集会, 横浜市, 20250329
22. 山田 彬弘, 山口 順也, 海野 優矢, 中野 悠太郎, 荻野 新, 新谷 智之, 野村 量平, 辻 俊比古, 片岡 達宏, 清水 智弘, 向井 萌, 佐藤 裕介, 三好 真智子, 玉直人, 長谷川 奏恵, 池田 裕之, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. A Case of Infectious Endocarditis after TAVI that was Difficult to Diagnose. 第 89 回日本循環器学会学術集会, 横浜市, 20250330
23. 三好 真智子, 海野 優矢, 山田 彬弘, 中野 悠太郎, 荻野 新, 新谷 智之, 野村 量平, 片岡 達宏, 辻 俊比古, 清水 智弘, 向井 萌, 佐藤 裕介, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 池田 裕之, 玉直人, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. Two Cases of Renal Vascular Hypertension Due to Fibromuscular Dysplasia (FMD) Improved by PTR. 第 89 回日本循環器学会学術集会, 横浜市, 20250330

d. 一般講演 (ポスター)

1. Miyoshi M, Fujita T, Fujita H, Nomura R, Kataoka T, Tsuji T, Shimizu T, Uzui H, Tada H. Radiation exposure of operators and patients in catheter ablation: what affects exposure?. 第 70 回日本不整脈心電学会学術大会, 金沢市, 20240718
2. Nomura R, Fujita H, Fujita T, Tsuji T, Kataoka T, Shimizu T, Mukai M, Sato Y, Miyoshi M, Yamaguchi J, Hasegawa K, Tama N, Ikeda H, Ishida K, Uzui H, Tada H.

Short-term results of additional cryoballoon left atrial roof ablation for persistent atrial fibrillation. 第 70 回日本不整脈心電学会学術大会, 金沢市, 20240718

3. Tsuji T, Nomura R, Mukai M, Miyoshi M, Hasegawa K, Uzui H, Tada H. Preoperative plain ct for paroxysmal atrial fibrillation ablation can be an alternative to contrast-enhanced ct. 第 70 回日本不整脈心電学会学術大会, 金沢市, 20240719
4. 山口 順也, 片岡 達宏, 池田 裕之, 三好 真智子, 佐藤 裕介, 長谷川 奏恵, 玉直人, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. 大動脈四尖弁に対して TAVI を施行した 1 例. 第 14 回日本経カテーテル心臓弁治療学会学術集会, 福岡市, 20240719
5. 片岡 達宏, 山口 順也, 海野 優矢, 中野 悠太郎, 山田 彬弘, 三好 真智子, 佐藤 裕介, 玉 直人, 池田 裕之, 石田 健太郎, 冨田 浩. TAVI 術中にアナフィラキシーショックを発症し、血圧低下が遷延した 1 例. 第 14 回日本経カテーテル心臓弁治療学会学術集会, 福岡市, 20240719
6. 清水 智弘, 石田 健太郎, 藤田 朝陽, 藤田 博嗣, 野村 量平, 片岡 達宏, 辻 俊比古, 向井 萌, 佐藤 裕介, 三好 真智子, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 池田 裕之, 玉 直人, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. ステンントを縫って Wiring しバルーン拡張してしまったが bailout に成功した PCI の一例. 第 32 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 札幌市, 20240725
7. 新谷 智之, 石田 健太郎, 山口 順也, 野村 量平, 片岡 達宏, 清水 智弘, 三好 真智子, 佐藤 裕介, 玉 直人, 池田 裕之, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. 左前下行枝高度石灰化病変に対する経皮的冠動脈インターベンション後に急性心膜炎を発症した 1 例. 第 32 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 札幌市, 20240726
8. 佐藤 裕介, 藤田 博嗣, 藤田 朝陽, 片岡 達宏, 清水 智弘, 三好 真智子, 山口 順也, 池田 裕之, 玉 直人, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. Proximal SFA-CTO puncture は逆行性アプローチの一つとなり得る. 第 32 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 札幌市, 20240726
9. 片岡 達宏, 宇隨 弘泰, 中野 悠太郎, 海野 優矢, 山田 彬弘, 新谷 智之, 荻野新, 野村 量平, 辻 俊比古, 清水 智弘, 向井 萌, 佐藤 裕介, 三好 真智子, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 玉 直人, 池田 裕之, 石田 健太郎, 冨田 浩. PCSK9 阻害薬を使用後、プラーク退縮により冠動脈ステント圧着不良を認めた一例. 第 32 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 札幌市, 20240726
10. 三好 真智子, 野村 量平, 辻 俊比古, 海野 優矢, 中野 悠太郎, 山田 彬弘, 荻野新, 新谷 智之, 片岡 達宏, 清水 智弘, 向井 萌, 佐藤 裕介, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 池田 裕之, 玉 直人, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. Impella が著効した劇症型好酸球性心筋炎の 2 症例. 第 32 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 札幌市, 20240726

11. 山田 彬弘, 三好 真智子, 野村 量平, 池田 裕之, 中野 悠太郎, 海野 優矢, 荻野 新, 新谷 智之, 片岡 達宏, 辻 俊比古, 清水 智弘, 向井 萌, 佐藤 裕介, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 玉 直人, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. Impella 併用にて EF40%まで改善し救命し得た重症心筋梗塞の一例. 第 32 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 札幌市, 20240726
12. 佐藤 裕介. 大腿膝窩動脈領域の非責任病変における NIRS-IVUS によるプラーク評価の意義、先行研究. 第 32 回日本心血管インターベンション治療学会学術集会, 札幌市, 20240727
13. 新谷 智之, 池田 裕之, 藤田 博嗣, 野村 量平, 辻 俊比古, 片岡 達宏, 清水 智弘, 向井 萌, 佐藤 裕介, 三好 真智子, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 玉 直人, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. 腹部大動脈瘤破裂術直後に生じた急性冠症候群に対して施行したバイパスグラフトが急性閉塞し緊急 PCI で bail-out し得た一例. 第 72 回日本心臓病学会学術集会, 仙台市, 20240928
14. 野村 量平, 藤田 博嗣, 辻 俊比古, 片岡 達宏, 清水 智弘, 向井 萌, 山口 順也, 佐藤 裕介, 三好 真智子, 長谷川 奏恵, 玉 直人, 池田 裕之, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. ECPPELLA により救命し得た劇症型好酸球性心筋炎の 1 例. 第 72 回日本心臓病学会学術集会, 仙台市, 20240928
15. 清水 智弘, 野村 量平, 辻 俊比古, 片岡 達宏, 向井 萌, 佐藤 裕介, 三好 真智子, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 池田 裕之, 玉 直人, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. 冠微小血管障害の不均衡の改善に伴い左心機能改善を認めた心不全症例の検討. 第 72 回日本心臓病学会学術集会, 仙台市, 20240928
16. 野村 量平. 心房細動アブレーション後, 低用量エドキサバン投与下に心原性塞栓症を発症した 1 例. カテーテルアブレーション関連秋季大会 2024, 大阪市, 20241011
17. 辻 俊比古, 野村 量平, 向井 萌, 三好 真智子, 長谷川 奏恵, 冨田 浩. 硫酸アトロピンの静脈投与にて誘発されたベラパミル感受性心室頻拍の 1 例. カテーテルアブレーション関連秋季大会 2024, 大阪市, 20241011
18. 向井 萌, 野村 量平, 辻 俊比古, 三好 真智子, 長谷川 奏恵, 冨田 浩. 心室中部閉塞型肥大型心筋症を背景とする心室頻拍に対してカテーテルアブレーションで抑制できた 1 例. カテーテルアブレーション関連秋季大会 2024, 大阪市, 20241011
19. 辻 俊比古, 野村 量平, 向井 萌, 三好 真智子, 長谷川 奏恵, 冨田 浩. 最適な左室リード位置を複数の指標を用いて決定した CRT upgrade の症例. 第 17 回植込みデバイス関連冬季大会, 福岡市, 20250221
20. Yamaguchi J, Kataoka T, Ikeda H, Umino Y, Nakano Y, Yamada A, Ogino S, Shinya T, Nomura R, Tsuji T, Shimizu T, Mukai M, Sato Y, Miyoshi M, Hasegawa K, Tama N,

Ishida K, Uzui H, Tada H. Valve Selection for Thrombocytopenia after Transcatheter Aortic Valve Implantation (TAVI) in Our Hospital. 第 89 回日本循環器学会学術集会, 横浜市, 20250328

21. Yamada T, Tokuda T, Yoshioka N, Koyama A, Nishikawa R, Shimamura K, Tsuruoka T, Mitsuoka H, Sato Y, Aoyama T. Impact of Below-the-Knee Runoff in Patients with Lower Extremity Artery Disease who Underwent Endovascular Therapy Using Drug-Coated Balloons. 第 89 回日本循環器学会学術集会, 横浜市, 20250329
22. 片岡 達宏, 山田 彬弘, 中野 悠太郎, 海野 優矢, 新谷 智之, 荻野 新, 野村 量平, 辻 俊比古, 清水 智弘, 向井 萌, 山口 順也, 三好 真智子, 佐藤 裕介, 玉 直人, 池田 裕之, 長谷川 奏恵, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. Prevention of Slow-Flow/No-Reflow during Percutaneous Coronary Intervention by a Single Dose of PCSK9 Inhibitor Therapy. 第 89 回日本循環器学会学術集会, 横浜市, 20250329
23. 三好 真智子, 長谷川 奏恵, 向井 萌, 辻 俊比古, 野村 量平, 冨田 浩. Outflow Tract Ventricular Arrhythmias Requiring a Trans-septal Approach; Incidence, Characteristics, and Outcomes of Catheter Ablation. 第 89 回日本循環器学会学術集会, 横浜市, 20250329
24. 関戸 貴大, 宇隨 弘泰, 吉川 真由美, 海野 優矢, 山田 彬弘, 中野 悠太郎, 新谷 智之, 荻野 新, 野村 量平, 片岡 達宏, 辻 俊比古, 清水 智弘, 向井 萌, 佐藤 裕介, 三好 真智子, 山口 順也, 玉 直人, 池田 裕之, 長谷川 奏恵, 石田 健太郎, 冨田 浩. Heart Insight Score 変動による心不全患者管理の有用性. 第 89 回日本循環器学会学術集会, 横浜市, 20250329

(3) 国内学会 (地方レベル)

a. 一般講演 (口演)

1. 片岡 達宏. TAVI 術中にアナフィラキシーショックを発症し血圧低下が遷延した 1 例. 日本心血管インターベンション治療学会(CVIT)第 50 回東海北陸地方会, 静岡市, 20240426
2. 國枝 光仁, 宇隨 弘泰, 片岡 達宏, 三好 真智子, 佐藤 裕介, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 玉 直人, 池田 裕之, 石田 健太郎, 冨田 浩. 冠動脈枝の違いによる冠血流予備能の相違. 第 148 回日本循環器学会北陸地方会, 氷見市, 20240622
3. 長谷川 奏恵, 辻 俊比古, 野村 量平, 向井 萌, 三好 真智子, 冨田 浩. 心房性頻脈が初発症状であった心アミロイドーシスの 1 例. 第 13 回関東アブレーションフロンティア, 東京, 20240629

4. 山田 彬弘, 山口 順也, 片岡 達宏, 池田 裕之, 佐藤 裕介, 長谷川 奏恵, 玉 直人, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. 診断に難渋した感染性心内膜炎の 1 例. 第 254 回日本内科学会北陸地方会, 福井大学, 20240908
5. 後藤 あゆみ, 竹内 一喬, 堀 麗菜, 相木 孝允, 丹羽 智, 大倉 清孝, 三澤 克史, 前野 孝治, 辻 俊比古, 冨田 浩. 心室頻拍コントロールに難渋したサルコイドーシスの 1 例. 第 254 回日本内科学会北陸地方会, 福井大学, 20240908
6. 田中 周, 根来 英樹, 森田 美穂子, 山内 高弘, 石田 健太郎, 冨田 浩, 前川 展廣, 五井 孝憲. R-THPCOP 療法 6 コース終了後に腸管穿孔をきたした心臓と腸管浸潤を伴う悪性リンパ腫. 第 254 回日本内科学会北陸地方会, 福井大学, 20240908
7. 山口 順也, 野村 量平, 辻 俊比古, 片岡 達宏, 清水 智弘, 向井 萌, 三好 真智子, 佐藤 裕介, 長谷川 奏恵, 玉 直人, 池田 裕之, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. 大動脈弁四尖弁による AS に対して TAVI を施行した 1 例. 日本心血管インターベンション治療学会第 51 回東海北陸地方会, 名古屋市, 20241019
8. 山口 順也, 片岡 達宏, 池田 裕之, 三好 真智子, 佐藤 裕介, 長谷川 奏恵, 玉直人, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. border annulus の bicuspid aortic valve type2 に TAVI を施行した 1 例. 日本心血管インターベンション治療学会第 51 回東海北陸地方会, 名古屋市, 20241019
9. 荻野 新, 野村 量平, 海野 優矢, 山田 彬弘, 中野 悠太郎, 新谷 智之, 辻 俊比古, 片岡 達宏, 清水 智弘, 向井 萌, 佐藤 裕介, 三好 真智子, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 玉 直人, 池田 裕之, 石田 健太郎. 再発性心膜炎を契機に診断された、成人発症リウマチ熱の一例. 日本循環器学会第 164 回東海・第 149 回北陸合同地方会, 名古屋市, 20241026
10. 中野 悠太郎, 辻 俊比古, 池田 裕之, 海野 優矢, 山田 彬弘, 荻野 新, 新谷 智之, 野村 量平, 片岡 達宏, 清水 智弘, 向井 萌, 佐藤 裕介, 三好 真智子, 山口 順也, 玉 直人, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩, 山下 順貴, 中本 安成. 肝細胞癌の抗癌剤で発症した irAE 心筋炎の一例. 日本循環器学会第 164 回東海・第 149 回北陸合同地方会, 名古屋市, 20241026
11. 新谷 智之, 三好 真智子, 野村 量平, 向井 萌, 海野 優矢, 中野 悠太郎, 山田 彬弘, 荻野 新, 清水 智弘, 片岡 達宏, 辻 俊比古, 佐藤 裕介, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 池田 裕之, 玉 直人, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. ECPILLA にて救命し得た劇症型好酸球性心筋炎の一例. 日本循環器学会第 164 回東海・第 149 回北陸合同地方会, 名古屋市, 20241026
12. 荻野 新, 野村 量平, 三好 真智子, 山口 順也, 長谷川 奏恵, 玉 直人, 池田 裕之, 石田 健太郎, 宇隨 弘泰, 冨田 浩. 再発性心膜炎を契機に診断された、成人発症リウマチ熱の一例. 日本内科学会第 255 回北陸地方会, ハイブリッド開催 (金沢市), 20250309

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

1. 玉 直人. その患者さんの息切れ大丈夫ですか?-潜んでいる怖い疾患-肺高血圧症とは-. 武生医師会 4 月次医学会, 越前市, 20240410
2. 笈田 浩. 福井県循環器病対策推進計画と心疾患治療. 福井県内科医会学術講演会, 福井市, 20240601
3. 笈田 浩. 不整脈治療ガイドラインフォーカスアップデート版から不整脈診療を知る. 石川県臨床内科医会～第 233 回中央地区研修会～, 金沢市, 20240628
4. 笈田 浩. 不整脈治療 ～現状と展望～. 第 22 回帯広不整脈研究会, 帯広市, 20240726
5. 笈田 浩. 不整脈治療ガイドラインフォーカスアップデート版から不整脈診療を知る. 第 457 回港北区医師会学術講演会, Web 開催, 20240730
6. 宇隨 弘泰. 心血管疾患維持期治療-現状と対策-. 心血管疾患患者さんの維持期治療を考える, Web 開催, 20240808
7. 笈田 浩. 循環器疾患の診療連携と不整脈診療 (最近の話題). 丹南地区診療連携の会, Web 開催, 20240920
8. 長谷川 奏恵. 脳梗塞と不整脈の意外な関係～治療の最前線まで～. 第 14 回丹生郡医師会健康公開講座, 丹生郡, 20241026
9. 笈田 浩. Amvia の神髄 IPG&CRT-P. Amvia:B3 EBM Webinar, Web 開催, 20241107
10. 宇隨 弘泰. 循環器病慢性期診療の問題点と取り組み -心精査紹介シートの活用-. 福井県の明日の病診連携を考える会, 福井市, 20241120
11. 笈田 浩. 不整脈の薬物療法. Reconsider the Amiodarone Seminar, Web 開催, 20241126
12. 笈田 浩. 不整脈治療 最新の話. 北摂循環器病研究会, ハイブリット開催・豊中市, 20241205
13. 笈田 浩. 不整脈治療: ガイドラインも含めて. 循環器 Crosstalk WEB セミナー, Web 開催, 20250227

b. 一般講演 (口演)

1. 片岡 達宏. 脂質プラークに対する PCSK9 阻害薬単回投与による超短期的な効果. 第 17 回福井心血管画像診断フォーラム, 福井市, 20240419

2. 石田 健太郎. リスクテージから考える HFpEF 治療. 福井県循環器疾患カンファレンス, Web 開催, 20240522
3. 池田 裕之. ファブリー病の早期診断と早期治療のためにできること. ファブリー病エリアフォーラム, Web 開催, 20240607
4. 佐藤 裕介. Central wiring と Excimer Laser Atherectomy が有効であった FP-ISO の一例. 第 1 回 Lead Conference, 大津市, 20240803
5. 長谷川 奏恵. Stroke and bleeding risks of endocardial ablation for ventricular arrhythmias. 2023 年度優秀論文並びに看護学領域研究奨励賞発表会及び「ライフサイクル医学」推進学部長裁量経費成果発表会, 福井大学, 20240806
6. 長谷川 奏恵. Safety of ventricular arrhythmia radiofrequency ablation with half-normal saline irrigation. 2023 年度優秀論文並びに看護学領域研究奨励賞発表会及び「ライフサイクル医学」推進学部長裁量経費成果発表会, 福井大学, 20240806
7. 佐藤 裕介. Web BK Conference, Web 開催, 20240808
8. 三好 真智子. TBD. Echizen Coronary Treatment Club, 越前市, 20240824
9. 清水 智弘. 症例提示. Complex PCI seminar, 福井市, 20240911
10. 片岡 達宏. 冠動脈プラークに対する PCSK9 阻害薬. CVD Management Consensus Meeting, 福井市, 20240911
11. 玉 直人. より生理的なペーシングを目指して: 今注目される左脚ペーシングとは. 心臓・血管勉強会 in 永平寺, Web 開催, 20240917
12. 清水 智弘. TBD. 第 1 回京都北陸症例検討会, Web 開催, 20240920
13. 佐藤 裕介. LEAD 診療 薬物療法を再考する. PCI Management Conference, 金沢市, 20240920
14. 片岡 達宏. 冠動脈プラークに対する PCSK9 阻害薬. PCSK9 Premium 10Days, Web 開催, 20240925
15. 佐藤 裕介. LEAD 診療 薬物療法を再考する. Lipid Management Seminar, Web 開催, 20241015
16. 池田 裕之. 心不全の治療と当院での取り組み. 福井消化器病セミナー～循環器内科編～, Web 開催, 20241022
17. 長谷川 奏恵, 三好 真智子, 西尾 遥, 長谷川 稔, 冨田 浩. 右房の瘤形成が心房頻拍の起源に関与した全身性強皮症の一例. 第 63 回アブレーションカンファレンス, Web 開催, 20241025

18. 玉 直人. 症例提示. PAH Expert meeting in 北信越・心肺疾患併存 PAH の治療を考える-, 富山市, 20241102
19. 佐藤 裕介. Fukui Workshop 2024, 福井市, 20241102
20. 長谷川 奏恵. 当院における ATTR 心アミロイドーシス診療の現状. Amyloidosis Conference～不整脈診療に潜む ATTR-CM, 福井市, 20241105
21. 片岡 達宏. Drug Intervention による新たな PCI 治療戦略. PCI Strategy Web Seminar, Web 開催, 20241119
22. 佐藤 裕介. 症例提示. 第 2 回北陸 EVT カンファレンス, Web 開催, 20241122
23. 池田 裕之. 長期治療継続したファブリー病の 1 例. 第 3 回福井県遺伝診療研究会, Web 開催, 20241206
24. 石田 健太郎. 心不全と高尿酸血症. 東海・北陸エリア ユリス Web チャンネル, Web 開催, 20250117
25. 清水 智弘. 寺子屋～石灰化病変編～, Web 開催, 20250123
26. 池田 裕之. 当院における心血管インターベンション治療. 越前循環器講演会, 越前市, 20250225
27. 宇隨 弘泰. 循環器病の早期発見の重要性について. 令和 6 年度心臓病に関する福祉・介護従事者職員向け研修会, 福井市, 20250302
28. 長谷川 奏恵. 当院における ATTR 心アミロイドーシス診療と連携体制. ATTRv Amyloidosis Seminar in FUKUI, Web 開催, 20250311
29. 山口 順也. 下肢アクセス不良な症例に TF-TAVI を施行した 1 例. 北陸エリア Navitor Case Conference, Web 開催, 20250318
30. 片岡 達宏. 実臨床で LDL70 未満の脂質管理をどのように実践するか. STOP!ASCVD ～地域で取り組む再発予防～, ハイブリッド開催 (福井市), 20250319
31. 清水 智弘. DCA の最新治療戦略. PCI Management Conference, 金沢市, 20250321
32. 佐藤 裕介. Echizen Endovascular Treatment Course2025(E-ETC), 越前市, 20250322
33. 佐藤 裕介. EVT 治療戦略. テルモ(株)EVT Web セミナー, Web 開催, 20250324

3. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間 (年度)	金額 (配分額)
科学研究費 補助金	基盤研究 (B)	心臓の代謝・自動 能関連の恒常性と 破綻の統合的解明	松岡達 (福井大学)	長谷川奏恵	2024	300,000 円 (分担金)
科学研究費 基金	若手研究	エボロクマブを用 いた積極的脂質低 下療法が、重症下 肢虚血の予後を改 善する未知の機序	佐藤裕介		2024	100,000 円
公益財団法人 福田記念医療技術振興財団		若年発症の心房細 動患者の遺伝的背 景と治療介入によ る予後の解明	長谷川奏恵		2024	3,000,000 円
ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社メディカルカンパニー		心室期外収縮に対 する心筋焼灼患者 の遺伝的背景と不 整脈基盤の解明と 治療応用	長谷川奏恵		2024	1,000,000 円
公益財団法人 矢崎科学技術振興記念財団		全身性強皮症に合 併する難治性不整 脈の催不整脈性因 子の解明	長谷川奏恵		2024	2,000,000 円